

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

学校名	唐津市立佐志中学校		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい佐志中学校づくりのためのアンケート」の結果から、生徒や保護者からは概ね学校の教育活動に対して評価していただいているものの、「佐志中学校に通って（通わせて）よかった」の質問に対して生徒は81%、保護者は91.7%であったので、今年度は生徒、保護者共に90%越えを目指す。 ・職員の共通理解のもと今年度も継続して校内研究を主軸において、授業改善を推進し、教師の指導力向上をめざし、生徒の学力向上を図る。 ・一層の生徒の意識向上を図るとともに、家庭との連携を強化することで、家庭学習の充実、スマホ利用時間の縮減等、望ましい生活習慣の形成を目指す。 		
2 学校教育目標	確かな学力を身につけ、健康で心豊かで、生きる力を持つ生徒の育成		
3 本年度の重点目標	<p>(1) 学力向上のために授業と家庭学習の充実を図る。</p> <p>(2) 生徒理解と仲間づくりを通して人権・同和教育を推進する。</p> <p>(3) SDG'sを意識した教育活動の展開を図る。</p>		
4 重点取組内容・成果指標	中間評価		
(1)共通評価項目			
	重点取組		中間評価
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組 進捗度 (評価)
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。
	○意欲的に学習に臨む生徒の育成を図る	○話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた回答した生徒を80%以上にする。 ○授業に一生懸命に取り組んでいる生徒を85%以上にする。	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・「振り返り」を確実に設定する。
	○家庭学習の習慣化	○毎日家庭学習に取り組む生徒を80%以上にする	・教材研究として授業と関連した課題の作成に取り組む。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳性についてのアンケートで肯定的な回答をした生徒と保護者の割合をそれぞれ80%以上にする。	・平和教育・人権教育に関する授業や掲示に取り組む。 ・道徳の授業や生徒会活動による心の教育活動について学級通信などを通して保護者に発信する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめアンケートで、学校の取組に肯定的な回答をした生徒・保護者の割合をそれぞれ85%以上にする。	・毎月生活アンケートをとる。 ・生徒指導部会(週1回)と生徒理解協議会(月1回)を通して、学年を越えた情報交換を行う。
	◎キャリア教育の推進を図る。	○将来の夢や希望する職業を持つ生徒を72%以上にする。	・様々な職業や学校について、紹介する。 ・適職診断等、自分の良さや関心をもっていることについて考える機会をもつ。
●健康・体づくり	◎「望ましい生活習慣の形成」	○睡眠時間7時間以上、スマホ等の使用時間2時間以内の生徒を80%以上にする。	・規則正しい生活やスマホ依存について通信等で啓発を行う。 ・スマホの使い方について講師を招いて講演会を行う。
	○朝食の喫食率向上を図る。	○朝食の喫食率を80%以上にする。	・朝食の効果について、保健だよりや給食中の放送を通して啓発を行う。 ・食育週間等に生徒に対して、朝食に関するアンケートを行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議等のペーパーレス化を推進し、会議等の効率化を図る。 ・部活動休養日の設定を徹底する。 ・部活動休養日を定時退勤日とする。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		中間評価
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組 進捗度 (評価)
○SDG'sの推進	○全教科・領域において、SDG'sを意識した教育を展開する。	○3つ以上のSDG'sを意識して生活を送ることができている生徒の割合を90%以上にする。	・全教科・領域において、また教科横断的にSDG'sを扱う単元開発を積極的に行う。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			
5 総合評価・次年度への展望			